

始



第三卷

三味線獨學

紫水式



157
171

木遣きやせ
くづし

「思ふぬかき帰りにすけは兄も武階
で木遣りの祝言吉エンヤラネサノヨーイサ
エンヤラサ、エンヤラヤレコノサ、サノエーア
レワサエンヤラヤ

道みち唯ば子やし

俗に「まてうめ」といふ

「歌をうて三味線のふ

青あお
柳やなぎ

「青柳の蔭に誰やりのあいな人老
おせぬ朧月夜のチ影るうし

鴨かむ緑りよく江え節ふし

「鴨緑で一鳥鮎は白頭山峰の白雪
アヤ解るとも、アハはせぬぞアヤ解る胸
よ夜毎に又あなただのよはかりチヨリ

海内かい内の家の成なり金きん節ぶし
志し賀が者者

「金が浮世か、流世かか孫か、いと首ふる
目をむくアア、おけは笑顔の投島田

志賀の家淡海節の内
調子
(成金ぶし)

但し口三味線の区切りごに拍子子を休む
のではありません練習の場合に口三味線の
の唱へ易き爲に区切りがしてあります

口三味線	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
	チャラ	(ハ)チャ	ラツ	シヤン	チャラ	(ハ)チャ	ラツ	シヤン	打	
一の糸	i 0̇	5 0̇	0	0	i 0̇	5 0̇	0	0		
二の糸	0	0	5	0	0	0	5	0		
三の糸										

この(チャラ)さいふごは前奏にもありますが(チャ)さいふのはらのところを押へた時で(ラ)さいふのは食指で今とひいた(ハ)のころを(ハナク)のす其音は放した音にへ音符がは0で示してあります

この間が一拍子
即ち一秒時間の
句切なり

前奏 弾

音符の重なるは
糸を二本一所に
弾くなり

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
トツ	ン	チ	ン	チ	ン	チ	ン	チ	ン	チ	ン
		0	5 3	5	7						
		0	5								

かねが ア ア ア う き よ オ か う き よ オ が ア

合の手
一本の糸に同じ拍子子の音符が列るぶ
時は拍子子記号は凡て連続させてあ
ります

愚痴
おまへの節

愚痴を言ふは、聞かざるに違ふ
夜の楽みは、逢ふては、おれつら、おまへの
鳥のさえずり、おまへの節、おまへの歌、
おまへの細道、おまへの下駄、おまへの梅、
おまへの鐘

わしが國

わしが國を、見せたものは、おまへの、
伊達様様、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、

活惚

ヨイ大ヨリ、沖の暗いのに、白帆が見ゆる、
おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、

海菜寺

おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、
おまへの、おまへの、おまへの、

ダンス歌

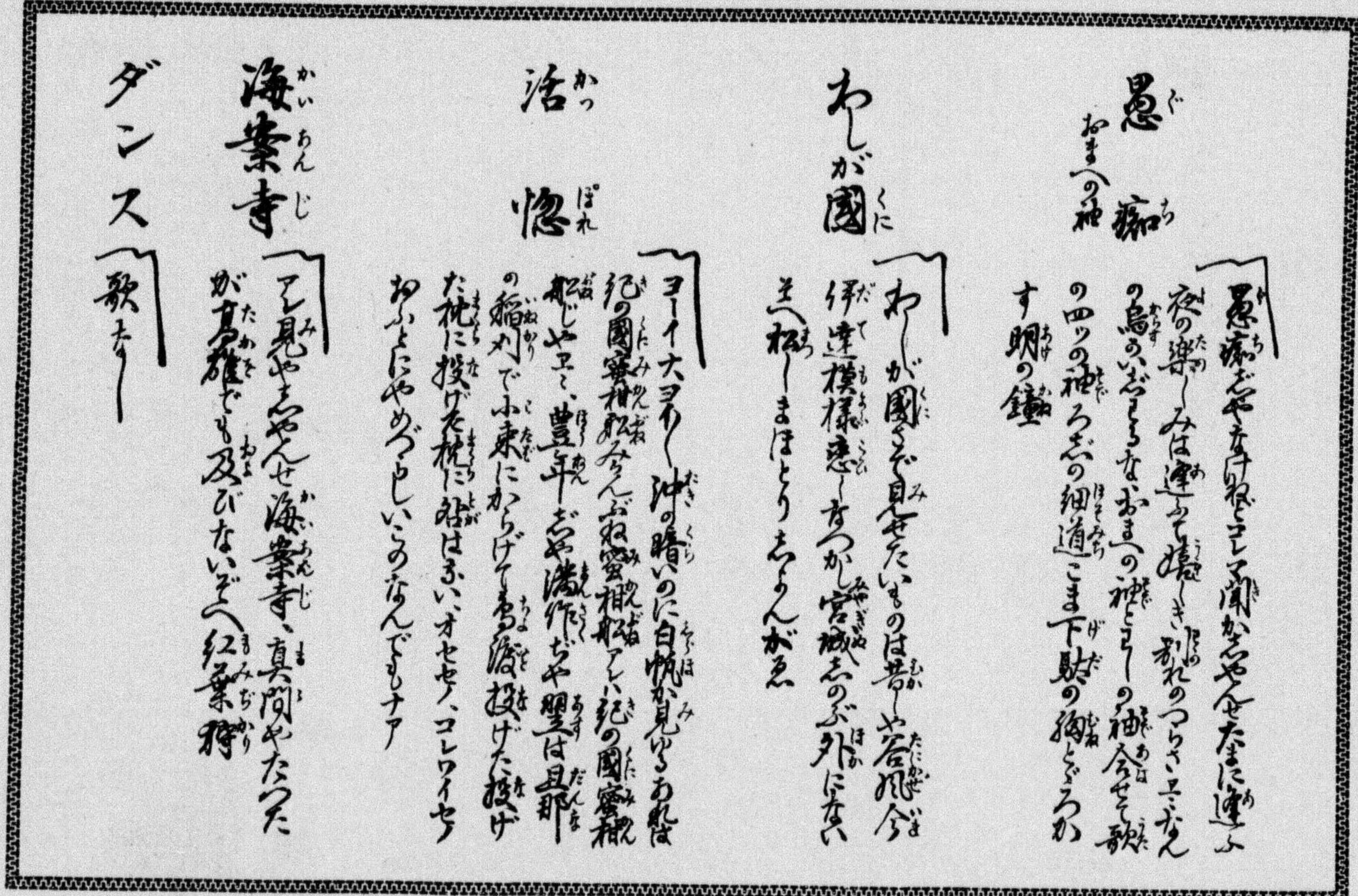


表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏					
チ	テ	ツ	ン	打	打	打	打	打	打	打	打					
3̣	0̣	5̣	6̣													
かね	か	ア	ア	いや	さ	く	ひ	ふる	め	だ	ま	む	く	ア	ア	ま

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏								
打	チ	リ	ン	ツ	ツ	テ	チ	ン	(ハ)チ	リ	ン	ツ	ン	打	打	打	チ	ヤ	ラ
	1̣	1̣	0̣	5̣	6̣	5̣	0̣	3̣	5̣	5̣	0̣	5̣	6̣				1̣	0̣	
は			系	か	ほ	+	の	あ	げ	し	い	い				ま	ア	だ	

合の手

記終
號結

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏								
(ハ)チ	ヤ	ラ	ツ	シ	ヤ	ン	チ	ヤ	ラ	ツ	シ	ヤ	ン						
5̣	0̣	5̣	0̣	0̣	0̣	0̣	1̣	0̣	5̣	0̣	5̣	0̣	0̣						

(鴨^ニ緑^上江^リ節)

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏													
チ	リ	ン	ツ	ツ	ン	(ハ)チ	ヤ	ン	(ハ)チ	ヤ	ン	チ	ヤ	ン	チ	ヤ	ン	打	打	チ	ン			
5̣	5̣	5̣	7̣	5̣	7̣	5̣	0̣	7̣	0̣	7̣	0̣	7̣	0̣	5̣	0̣	7̣	0̣				5̣			
																						ち	よ	う

○ 弾前
は 弾を速く
た 如く休んで
の 中で「ン」とい
ふ 間を取るの
有 ります其間
と 取る時間の長
短 は 記號によ
り 違って行の
中 には ありま
す

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
ツ	ト	シ	打	チ	チ	チ	チ	チ	ツ	チ	
5	0	5		7	9	0	9	5		7	
		0									
と け は せ ぬ ぞ ゑ エ アリヤ											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏			
ツ	テ	チ	リ	ト	チ	テ	(イヤ)	チ	リ	テ	ツ	ト	ロ	ン
	0	2	2		2	0		2	2	0	2	0	0	
2				0										
わ し か ァ む ね よ よ ごと に ま ァ														

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チ	ツ	テ	打	ツ	テ	チ	チ	チ	チ	打	
		0		2	0	2		5		2	
	5										
ア ナ た あ ち た ァ の オ											

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チ	テ	ヨ	ヨ	ツ	ト	打	ツ	チ	テ		
2	0										
				2	0			0	5		0
こ ごと ば ァ ァ か り ち ヨ イ ち ヨ イ											

(青ニ上リ柳)

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
テレ	ント	トチ	テト	シャン	打	テン	ツ	トン	ツ	ツ	レツ
0 ^ス 0	0	i 0	0	0		0		0		i i	0̇ ₅
	0	0	0	0				0			
あ を オ や ア ギイ											

前弾

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
テン	(イヤ)	ツル	ツル	トツ	テツ	ツン	(イヤ)	チン	トン	チャン	ツ
0		i i ^ス	i i ^ス	0 5	0 3	5		7	0	7	
									0	0	
の か											

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
ツ	ツ	チン	チン	チン	チン	チン	チン	ツン	チン	テン	ツン
		0	7	5	8	7	5		5	0	
								6			3
げ エ に イ たれ や ア ら ア											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
トン		チン	(ハ)チ	チン	テン	テ	ンツ	トン	(イヤ)	チリ	リチ
0		i	5 7	0	0		0		3 3	3 5	
いる ッ わ い イ か											

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏			
ト	ン	チ	ン	テ	レ	ン	ト	ト	チ	テ	ト	シ	ヤ	ン
		i		<u>00</u> ^ス		0	0	i	0	0	0	0		
0				0	0	0	0							

(道子 雑子)

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏			
	チ	ヤ	チ	ヤ	チ	ヤ	チ	ヤ	チ	ヤ	チ	ヤ	チ	ヤ
	5	5	5	5	5	5		7	7	5	7	7	5	
	<u>00</u>	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏									
チ	リ	ト	チ	チ	レ	ツ	ン	ツ	ツ	チ	チ	レ	ツ	チ	チ	ン	チ	ン	チ	ン
7	7	0	5	7	5	7		5	7	8	7	9	7	8	7	9	10	10	10	10

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏										
チ	チ	チ	チ	リ	チ	ツ	ツ	チ	リ	ツ	ツ	(イ	ヤ)	ツ	ン	チ	リ	チ	リ	チ	リ
10	2	10	9	7	7	7		7	7	8	8	7	7	8	7	5	7	7	7	7	7

之間二度弾く

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏												
ツ	ン	チ	リ	ツ	ン	イ	ヤ	チ	リ	ト	テ	チ	レ	ツ	ン	テ	ツ	テ	ツ	ト	ン	(イ	ヤ)
		<u>7</u> ^ス	<u>7</u> ^ス					<u>7</u> ^ハ	<u>7</u> ^ハ	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>2</u> ^ハ	<u>0</u> ^ハ			<u>0</u>	<u>i</u>	<u>0</u>	<u>i</u>	<u>0</u>	<u>i</u>		<u>0</u>

之の所^ニまで二度くり返して弾くべし
 之の間^ニ二度弾く

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏												
ト	ツ	ツ	レ	ツ	ン	テ	ン	ト	ツ	ツ	レ	ツ	ン	テ	ン	ツ	ツ	ン	テ	チ	レ	ツ	ン
<u>0</u>	<u>i</u>	<u>i</u> ^ハ	<u>0</u>	<u>3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>i</u>	<u>i</u> ^ハ	<u>0</u>	<u>3</u>	<u>0</u>	<u>i</u>	<u>i</u>	<u>0</u>	<u>2</u> ^ハ	<u>0</u> ^ハ						<u>i</u>	

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏												
チ	チ	チ	リ	チ	ツ	ツ	ン	ツ	チ	チ	レ	チ	ン	(イ	ヤ)	ツ	チ	チ	レ	チ	ン	(イ	ヤ)
<u>5</u> <u>7</u>	<u>9</u> <u>9</u> ^ス	<u>7</u>	<u>8</u>	<u>7</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u> <u>7</u> ^ハ	<u>7</u>								<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u> <u>7</u> ^ハ	<u>7</u>				

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏											
ツ	チ	チ	レ	ツ	チ	チ	レ	ツ	チ	チ	レ	チ	ヤ	ン								
<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u> <u>7</u> ^ハ	<u>9</u> <u>7</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u> <u>7</u> ^ハ	<u>9</u> <u>7</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>9</u> <u>7</u> ^ハ	<u>9</u>	<u>0</u>										

何処達も始めへ返して弾くなり

(木遣くづし)

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	チン	テン	チレ	チチ	チン	チシ	チン	チン	チン	チン	チン
5	i	0	<u>i0</u>	<u>ii</u>	i	i	i	i	i	i	i
エ _____ あに きや											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	チテ	ツン	ツン	(イヤ)	トツ	テン	ツン	ツン	ツツ	ツン	ツン
i	<u>i0</u>	5	6	<u>03</u>	0	i	5	<u>75</u>	6	5	
ア うち か ぞ あね ご に ぞオ ヘ は											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
テン	ツ	テン	ンツ	テン	チテ	ツン	ツン	(イヤ)	トツ	テン	ツン
0		0	<u>5</u>	0	<u>i0</u>	5	6	<u>03</u>	0	i	*
あ ア に きや にか い で きや り の											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
ツン	ツツ	ツン	ツン	シヤン	ツ	シヤン	ツン	ツン	チン	チン	ツ
5	<u>75</u>	6	5	0	0	0	5	5	5	i	
けエ い こ エ ン ヤ ラ ネ サノ 田											

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
チン	テン	チリ	チレ	ツン	(イヤ)	ツン	テン	チン	ツン	ツン	打
i	0	<u>i</u> ^ˆ <u>i</u> ^ˆ	<u>i</u> ^ˆ <u>0</u> ^ˆ	5		5	0	i	5	i	
イ	サ	エン	ヤラ	サ		エン	ヤラ	ヤレ	コノ	サ	

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
打	チン	チン	ツ	チン	テン	ト	ツ	ツル	テン	ツン	ツン
	5	i		i	0		5	<u>5</u> ^ˆ <u>5</u> ^ˆ	0	5	5
						0			0	0	
	サノ	エ	—	エ	エ	アレ	ワサ	エン	ヤラ	ヤ	

(下リス)

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
チャン	チャン	テツ	テチ	チリ	トト	トン	(イヤ)	チリ	テト	ツル	テト
5	5	0	0 3	5 5				5 5	0	5 5	0
0	0	5				0 0	0		0	5 5	0

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
ツル	テツ	ツン	(イヤ)	ツンテレ	テン	ツンテレ	テン	ツンテレ	テン	ツン	(イヤ)
5 5	0			0 0	0	0 0	0	0 0	0		
	3	3		3		3		3	3	3	

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
トーンツ	ツンツン	トーンツ	ツンツン	ツーンツ	テン ツン	テン (ハ)	チャチャ	チャン	ト ト	ト ン	(イヤ)
							5̇5̇	5̇			
0̇	3̇	5̇	3̇	0̇	3̇	5̇	7̇	5̇	3̇	0̇	5̇
0̇	3̇	0̇	3̇	5̇	7̇	5̇	3̇	0̇	5̇	0̇	5̇
0̇	3̇	0̇	3̇	5̇	7̇	5̇	3̇	0̇	5̇	0̇	5̇

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	ツン	ツチ	ンチ	チリ	トチ	チン	(イヤ)	チントチ	チンチン	チントチ	チンチン
10̇											
10̇	0̇	0̇	10̇	0̇	10̇	0̇	0̇	1̇	1̇	10̇	10̇
10̇	0̇	0̇	10̇	0̇	10̇	0̇	0̇	1̇	1̇	10̇	10̇
10̇	0̇	0̇	10̇	0̇	10̇	0̇	0̇	1̇	1̇	10̇	10̇

(海本調子寺)

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チントチ	チンチン	チャン						ト	ン	ツ	シヤン (イヤ)
0̇	0̇	10̇	0̇	5̇				0̇	5̇	0̇	7̇
0̇	0̇	10̇	0̇	5̇				0̇	5̇	0̇	7̇
0̇	0̇	10̇	0̇	5̇				0̇	5̇	0̇	7̇

前 弾

打

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
シヤン	チテ	ト ン	レ ツ	シヤン (イヤ)	ト	ン	ツ	シヤン (イヤ)	ト	ン	ツ
0̇	1̇		0̇	0̇				0̇	5̇	0̇	5̇
0̇	1̇		0̇	0̇				0̇	5̇	0̇	5̇
0̇	1̇		0̇	0̇				0̇	5̇	0̇	5̇

ア レ エ

み や

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏		
テン	ツテ	チン	チン	チリ	チツ	テレ	トテ	テン	(イヤ)	テテ	レツ		
0	<u>0</u> 3	2	5	<u>2</u> <u>2</u> ^ハ	<u>2</u> 3	<u>0</u> <u>0</u> ^ス	<u>0</u> 0	0		<u>0</u> <u>0</u>	<u>0</u> 1		
み	か	ア	—	ん	—	ぶ	ね	じ	や	ゑ	—	み	か

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏				
テン	ツン	テン		テン	ツテ	チン	チン	チチ	ツチ	チリ	トチ				
0		0		0	<u>0</u> 3	2	5	<u>7</u> <u>5</u>	<u>5</u> 7	<u>7</u> <u>7</u> ^ス	<u>7</u> 0				
ん	ぶ	ね		み	か	ア	—	ん	—	ぶ	ね	じ	や	ゑ	—

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	トチ	チン	(イヤ)	チリ	チチ	ツン	ツチ	チン	(ハ)チ	テン	(イヤ)
7	<u>7</u> 0	7		<u>9</u> <u>9</u> ^ス	75	7	<u>7</u> <u>5</u>	7	<u>7</u>	0	
エ	—	—		エ	—	—	—	—	—	—	—

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏		
ツチ	ツチ	チヤン	(イヤ)	チン	㊦	チン	㊦	チン	(イヤ)	ツチ	ツチ		
<u>7</u> <u>5</u>	<u>7</u> <u>5</u>	7		9		7		5		<u>7</u> <u>5</u>	<u>7</u> <u>5</u>		
イト	コ	リ	ヤ	セ		あれ	は	き	イ	の	く	ウ	—

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チャン	イヤ	チチ	ツチ	テチ	テツ	トン(ハ)	テト	トン	トン	トン	打
$\dot{7}$ 0		$\dot{7}$ <u>5</u>	$\dot{7}$ <u>5</u>	<u>0</u> 2	<u>0</u> <u>3</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	0	0	0	
に	やれ	この	これ	わい	さ	サ	サ	サ	サ	サ	

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
テン	ツテ	チン	チン	チリ	チツ	テレ	トテ	テン	(イヤ)	ツン	ツチ
0	<u>3</u> 0	2	5	<u>2</u> <u>2</u>	<u>2</u> <u>3</u>	<u>0</u> <u>0</u>	<u>0</u>	0		$\dot{7}$ 0	$\dot{7}$ <u>5</u>
み	かん	ン	—	—	ぶね	じや	エ	—	—	ほう	ねん

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●			
チン	(イヤ)	チチ	チツ	ツン	(イヤ)	ツン	ツチ	チン	☁	チチ	チツ			
$\dot{7}$		<u>9</u> $\dot{7}$	<u>5</u> $\dot{7}$	5		$\dot{7}$ 0	$\dot{7}$ <u>5</u>	$\dot{7}$		<u>9</u> $\dot{7}$	<u>5</u> $\dot{7}$			
しや		まん	さく	じや		あす	は	だ	ん	あ	の	い	ね	かり

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●									
ツン	(イヤ)	ツン	ツチ	チン	☁	チチ	チツ	ツン	打	チン	☁									
5		$\dot{7}$ 0	$\dot{7}$ <u>5</u>	$\dot{7}$		<u>9</u> $\dot{7}$	<u>5</u> $\dot{7}$	5		5										
で		こ	た	は	に	か	ら	げ	て	ち	よ	い	さ	あ	げ	た		あ	げ	エ

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表				
チレ	ツチ	テン	チャン	チャン	打	チン	ツ	チン	チン	チン	ツン			
$\dot{7}\dot{5}$	$\dot{7}\dot{5}$	0	$\dot{7}$	$\dot{7}$		$\dot{9}$		$\dot{9}$	$\dot{7}$	$\dot{5}$	$\dot{7}$			
	$\dot{7}$		0	0										
た	ア	—	—	サ	ツ	サ		ま	く	ら	ア	に	や	ア

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表		
ツン	(ハ)ツ	テン	チン	打	チツ	テン	ツン	(ハ)テ	ツン	(ハ)テ	ツレ		
$\dot{5}$	$\dot{3}$	0	i		$\dot{5}$	$\dot{7}$	0	i	0	i	0	$\dot{1}\dot{0}$	
ア	か	げ	た		ま	く	ら	に	や	と	か	わ	ア

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表								
トツ	ンツ	ツン	(イヤ)	ツチ	ツツ	ツチ	ツツ	トチ	チリ	ツチ	チチ								
				$\dot{7}$	$\dot{5}$	$\dot{7}$	$\dot{5}$	$\dot{7}$	$\dot{5}$	0	$\dot{5}$	$\dot{5}\dot{5}$	$\dot{7}$	$\dot{5}$	$\dot{7}$	$\dot{5}$			
$\dot{0}\dot{5}$	$\dot{5}$	0	$\dot{5}$																
あ	ア	い		を	せ	せ	の	これ	わい	せ	の	た	た	と	に	や	め	づ	らし

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
ツン	チツ	テレ	テツ	トツ	テツ	テレ	トテ	テン			
$\dot{7}$	$\dot{5}$	$\dot{0}\dot{0}$	0	0	i	0	$\dot{5}$	$\dot{0}\dot{3}$	$\dot{0}\dot{0}$	0	0
い	コ	ノ		あ	ん	て	も	オ	せ	エ	—

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チンチリ	リンワン	ツン(ハ)	チレツチ	テ ンツ	トンツン	テン(ハ)	チチ	チン	チン	チン	チン
5̣ 7̣ 7̣	5̣ 7̣	7̣	7̣ 5̣ 5̣	0 3̣	0 5̣	0	2̣ 2̣	2̣	2̣	2̣	2̣
こい し											

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チン	チン	チン	㊦	テ ンツ	ツ テ	ツ テ	チン	チヤン	㊦	㊦	ツト
2̣	2̣	2̣		0 3̣	3̣ 0	3̣ 0	2̣	2̣ 0			3̣ 0
あ	つ	か	し					み	や	ぎ	
合 の 手											

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チン	チン	チチ	ツテ	ツン	チン	チテ	ツテ	チリ	トチ	チン	(イヤ)
2̣	5̣	7̣ 5̣	7̣ 0	2̣	5̣	2̣ 0	3̣ 0	2̣ 2̣	0 2̣	2̣	
ぬ	う	—	—	—	し	い	の	お	—	ぶ	う

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チリ	トチ	チン	(イヤ)	チリ	トチ	チン	(イヤ)	チリチリ	チンチン	ツンツチ	チンリン
2̣ 2̣	0 5̣	7̣		9̣ 9̣	0 9̣	7̣		9̣ 9̣ 9̣ 9̣	7̣ 5̣	7̣ 7̣ 5̣	7̣ 7̣
合 の 手											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
トンチン	チンリン	トンチン	チンリン	トンチン	チンリン	チチ	チン	チン	チン	チン	(ハ)チ
0	<u>5</u> <u>77</u>	0	<u>5</u> <u>77</u>	0	<u>5</u> <u>77</u>	<u>99</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>9</u>	<u>0</u>
ほか ㇿ に イ — かい ぞ ゑ											

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チチ	チン	チン	ㇿ	ㇿ	チチ	チン	チン	ツン	テン	ツン	ㇿ
<u>87</u>	<u>5</u>	<u>5</u> <u>0</u>			<u>57</u>	<u>9</u>	<u>5</u>	<u>7</u>	<u>0</u>	<u>i</u>	
ま つ ㇿ — し ま ㇿ ほど											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
ㇿ	ㇿ	ㇿ	テ—ツ	トロ	ンツ	テレ	トテ	テン	(イヤ)	チチ	チチ
			<u>0</u> <u>i</u>	<u>00</u>	<u>5</u>	<u>00</u>	<u>0</u>	<u>0</u>		<u>57</u>	<u>97</u>
りイ — — しよんがいイ — — あ ㇿ —											

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チンチレ	ツン	チンチレ	ツンチン	トンテレ	レンツン	ツテ	ツレ	トツ	ンツ	テン	ㇿ
<u>5</u> <u>75</u>	<u>7</u>	<u>5</u> <u>75</u>	<u>7</u> <u>5</u>	<u>00</u>	<u>0</u>	<u>i</u>	<u>i</u>	<u>0</u>	<u>10</u>	<u>05</u>	<u>75</u>
0											

打イロ

(ぐ本調子ち)

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チ	トン	チャン	打	チン	☪	チリ	ンチ	テン	☪	打	ツン
5̣	0	5̣	0	6̣		5̣5̣	☺ 1̣	0			5̣
ぐち じゃ あ け ね ぞ くれ											

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
ツン	☪	☪	チン	☪	テン	☪	テレ	トン (イヤ)	トン	トン	
			i		0		0 ^ス 0		0		0 0
6̣											
ま き か ァ — し や ァ ん せ											
合の手											

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
テン	ツン	ツン	ツン	テン	チン	トン	チン	チリ	ンチ	テン	打
0	5̣	7̣	5̣	0	3 ⁵	0	6̣	5̣5̣	☺ 1̣	0	
コキ											

表	●	表	●	表	●	表	●	表	●	表	●
チン	☪	チン	チン	チン	打	☪	チン	チン	☪	チン	打
6̣		6̣	5̣	10			0	6̣		5̣	
たま ァ に イ あ ふ よ ぁ の											
合の手											

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	チリ	ンチ	(ハ)テン	(ハ)ツン	(ハ)ツン	ツン	ツツ	ツン	テン	トン	〇
6̣	5̣5̣	①i	0						0		
				5̣	7̣		5̣	5̣		0	
						6̣	6̣				
たの	おし	イ	み	イ	を	オ				あふ	オ

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
〇	テン	テン	打	トン	〇	テン	テツ	テン	ツン	ツン	打
	0	0				0	0	0	2̣	3̣	
			0				0	i			
オ	て	エ	う	れ	エ	し	イ	さ	ア	ア	

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
〇	ツン	〇	テン	〇	ツン	(イヤ)	チン	〇	ツン	テ—	ンツ
							i				
	3̣		0						5̣	0	①5̣
							i				
わか	ア	れ	エ	の	オ				つら	ア	—

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
トン	打	トン	〇	〇	トツ	テン	打	テン	〇	チン	チン
						0		0		3̣	5̣
						0	5̣				
ア	—	さ	エ	エ					あ	ん	ン

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	リン	㊦	チン	チリ	ンチ	テン (イヤ)		チン	チン	チン	チチ
6̇	ス6̇		0	5̇5̇	①i̇	0		3̇	5̇	6̇	10̇6̇
から ア す っ — っ っ か											

合の

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チャン	打	チンチリ	レンチン	テ—ンツ	トン (ハ) チ	チン	トン	ツン	テン	チン	
5̇		i̇i̇ ^ス	0̇3̇ ^{5̇}	0̇ ^① 5̇	0	5̇	7̇				8̇
0							0	3̇	0		
手 い ち わ ア る っ — っ — — — あ											

手

ヨキ

合の手

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
チン	(イヤ)	チツ	ツツ	ツン (イヤ)	ツ—ンツ	ツントン	ツテ	チリ	テツ	ンテ	
7̇		7̇	8̇	7̇	8̇	7̇		6̇ ^① 5̇	6̇	0	5̇
								0	i̇i̇	0	5̇
										0	①0
お ま る エ — — — の											

之より唄の所拍子にをゆつくり取るべし

の

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
ツン	ツン	表	表	表	表	シャン	(イヤ)	シャンシヤ	シャンシャン	トンチリ	レンツン
						0		0 3	5 7	1 1	0 5
	5					0		0 0	0 0	0	5
7						で	エ				
そ	オ	—	—	—	—						

表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表	表
ナン(ハ)	チレ	トト	テツ	ナン	(イヤ)	チン	チン	チン			
0	1 0		0 5	0		3	5	7			
		0 0									

之より拍子ゆつくり二度目の唄となる
三味線の手は同じことなり

十字屋楽器店發行
簡易音樂書類廣告

大塚寅藏編

俗通 ヴァイオリン獨學び

及本略譜

送金料四拾錢

大塚寅藏編

圖簡易 オルガン獨學び

及本略譜

送金料四拾五錢

吟風散士編

圖簡易 マンドリン獨學び

及本略譜

送金料四拾錢

大塚寅藏編

大正琴獨學び

及本略譜

送金料貳拾錢

廣瀬春子著

大正琴獨習の友

及本略譜

送金料四拾錢

倉田初四郎編

ハーモニカ獨學び

及本略譜

送金料四拾錢

小島賢八郎著

吹奏樂器教本

及本略譜

送金料八拾錢

クラリネット獨案内

送金料拾貳錢

右の外和洋樂器、樂書類一式販賣仕候

(京東 行發店器樂屋字十 都京)

手子
879

はしがき

師匠に就かねば三味線の弾けぬものゝ様に思はれて居たはの昔の
 語り草で、今日では澤山な三味線獨習書が出来て何人にも師匠な
 して三味線の獨稽古が出来る様になりましたが、只遺憾な事には
 私のは是迄に手にしましたものは凡てドレミファ式のものや其の略
 符式のもので、多少の學理や音樂の素養がないと一寸弾き兼ね
 のが多い様ですが、今此處に御推獎致します紫水式三味線獨
 はそんな理窟や面倒なしに、婦女子にも至極解り易く、私の實地
 の經驗では難解（むづか）しい調子や指使い等も至極樂々と暫くの間には達
 して一寸友人の前でも聴かせる事が出来る様になりました、其處
 で私と同様師匠にも就かすにどうかして僅かアノ三筋の糸であれ
 程複雑な樂音や人生の喜怒哀樂を表現し得る三味線を思ふまゝに
 弾いて見度いと御考への方々に、此の紫水式三味線獨學（まな）びを御勸
 めし、大いに私の實驗上の感謝から宣傳致す次第であります。

大地正
 11. 8. 18
 内交

雨のシト降る山科の閑居にて

霞峯庵 茶 禪

三味線獨學び(第三編)目次

使用法の部

○音の種類	一	○スクイ撥	九
○音符	三	○ハヂキ	九
○拍子	五	○指つかい	十
○休止符	六	○調子の合せ方	十一
○半間拍子	七	○符表	十三
○口三味線	八	○諸記號	十四
○掛聲	八	○練習の注意	十六

附録 三味線勘所圖解並に譜尺、
右挿んでありますから御注意下さいませ

音の種類

音楽には音が土臺であります音といふものはどうして出るかといふと或る弾力性のある物體に震動を與へると其物體が震動するにつれて或る物體を包んでいる所の空氣が動かされて其空氣の震動が耳の或る器關に觸れて始めて音と考られるのであります音と云ふものは無數であるが先づ第一に「長い音」に「短い音」第二は「高い音」に「低い音」第三に「強い音」に「弱い音」第四は「音色」であります以上の音は各々音の性質であります仮りに「長い音」といへば工場で鳴らす汽笛或は走る車の音「短い音」は鐵砲の音か拍子木を打合した音「高い音」は汽車の笛「低い音」は汽船の笛「強い音」は大砲の音や近い雷の音「弱い音」は蚊の聲や懐中時計の「セコンド」の音又た「音色」といふは種々と變つた音があるといふことで例へば尺八と鼓弓の音とは味が違います三味線と箏の音とは又味が違ひます斯様に音には各々固有の味がある之を音色といふのであります

注意

世間では聲の強い弱いといふ區別と調子の高い低いといふ區別とを混同している人が甚だ多いので例へばモウ少し高い聲をお出さないといふと少しも調子を高くしないで唯大きな聲を張り上げる計りです又た「モウ少し低

く」といへば調子は元の儘で唯聲を小さく弱くするだけの人が澤山あります夫は高い低いといふことを大きい小さい又た「アノ人の聲が低くつて聞きとれない」などと云ふことをいふ人がありますが間違ひです、たとひ低い聲でも所謂破れ鐘のような聲で張上げて強い聲を出せばよく聞こへます又た蚊の鳴く聲は非常に高い調子であるのに弱いから聞こえないなどと斯様に調子の高い低いと聲の強い弱いと誤つて居られる人があります仮りに音楽をする人は特に注意を希います

音符

音楽に用ゐらるゝ音は前に述べたる如く各々性質の變つた音が繰返されつゝ進んでゆくので面白味が生じるのです之の音の區別を表はす所の記號を名付けて音符と云ひます最初に表はしてある「勘所圖解」に示す十二文字の數字は即ち音符であります然して音符には音の長い短いがあります其長短を計るには尤も易きものがある夫は普通のボン／＼時計の「振子」であります御存知の通り時計の振子が左右へ「カチ」と二度動く間が一秒時間であります其時間に相當する音を「四分音符」と云ひます次に一秒時間より半分短い音で時間に計れば半秒時間に相當する音符之を「八分音符」と云ひます次は「八分音符」より未だ短い音符があります夫を「十六音符」と云ひます斯の如く音の長さが三段に別れて居ります之を撥で弾く數にすれば一秒時間に一撥弾くのと二撥弾くのと一番早く弾く即ち短い音は一秒時間に四撥弾くのと長短なつて居りますこの三つの音符を間拍子で云へば「一拍子」「半拍子」「四半拍子」と云ふ唱へになります以後「四分音符」「八分音符」「十六音符」の事を述べます時は拍子の唱へを用ゐます扱て之の「一拍子」「半拍子」「四半拍子」の區別を一目瞭然たらしむる爲音符の下へ拍子記號を表はしてあります

仮りに「5」の音符を以て示しますと

「5」 音符の下に記號なきは四分音符即ち一拍子であります

「5」 音符の下に一本短き横線あるは八分音符即ち半拍子であります

「5」 音符の下に二本短線あるは十六分音符即ち四半拍子であります

この記號によつて弾き方に長い短いを付けてゆくのであります

拍子

歌曲の進行中に一定の時間内で繰返されつゝ現はれて来る強いところと弱いところのある之を拍子といふます拍子の種類は澤山ありますが邦國の歌曲には「二拍子」といふものがよく嵌つて居ります

「二拍子」といふものは「一拍子」と云ふものが二つ連続したもので「一拍子」を時間で計れば音符の所で述べてある「四分音符」と同一で一秒時間になる譯である故に二拍子を時間に計れば四秒時間となる其時間内に二打つ「一二」「一二」と順に繰返されつゝ定間で進行してゆくのす然してこの「二拍子」には強い弱いがある「一」は強く「二」は心持弱く俗に之を表裏と唱へます三味線の弾方も表は強く弾き裏は些し弱く弾いて味をつけてゆくのす之の表裏の記號は譜表の上部に表はしてあります斯様に強弱の順で進んで行くのすや或る曲によつては弾出を裏間から出る事がある即ち弱い方から弾出す事がある之は作曲の都合であります然して二拍子が四秒時間に二打つ、順に進む間に音符の方は例の音の長短或は休止符などが適宜に混つてゆきます之の音符の「間拍子」と「二拍子」の「一二」「々々」と二打つ、進む間取りとは全然別ものであります

休止符

唄でも三味線でも始めから終りまで休みなしに進行することは出来ません例へば本を讀むにしても呼吸する時間があります況して曲節ある物は無論であります而して休止間にも長短があります其種類は音符と同一である要するに音符の方は音の長短を表はし休止符は休む間の長短を表はすのであります

休止符の記號

- ① この記號は前に述べた四分音符即ち一拍子の休止符なり
- ② この記號は八分音符即ち半拍子の休止符なり
- ③ この記號は十六分音符即ち四半拍子の休止符なり

半間拍子

半間拍子といふは何んの曲に限らず二拍子の表裏に強弱を付けて進む内或る場合に表間になるべき拍子が裏間になることが出来てくる之れは作曲の都合で仕方がありません其場合に之の「半間拍子」といふものを其場所だけ別に用ゐて一ト先づ前の拍子を句切り而して改めて又二拍子の表裏に強弱を付けて進んでゆくのです。つまり拍子の融通を付ける爲に「半間拍子」を用ゐるのです西洋音符の四分の三拍子を用ひると同一であります

Ⓢ 半間拍子の時は上の記號が用ゐてあります

口三味線

口三味線は何時の頃より唱へはじめたものやら不明であります。要するに音符の間拍子を取るために唱へはじめたものと思はれます。素より完全なものではありませんが従来から一般の習慣になつて居りますから便宜上用ゐる事にしてあります。唱へ方は左の如し

(甲) (チン)(ツン)(テン)(トン)(チン)(リン)(ルン)(ロン)

(レン)(シャン)(ジャン)(チャン)(リヤン)

(乙) (チ)(ツ)(テ)(ト)(ラ)(リ)(ル)(レ)

(ロ)(シヤ)(ジャ)(チャ)(リヤ)

「甲」の唱へ方は各々一拍子の口三味線で「乙」の方は半拍子又四半拍子と兩様に唱へます。其區別は音符の拍子記號で見分けます。口三味線も音符と同一で間拍子の早い時には唱方を早くするのであります。

掛聲

掛聲の唱へ方(イヤ)(ヨイ)(オイ)(ヨイ)(ヨイ)(ヨイ)(ヤア)(ヤ)

(ハ)大畧以上の如くであります。

スクイ撥

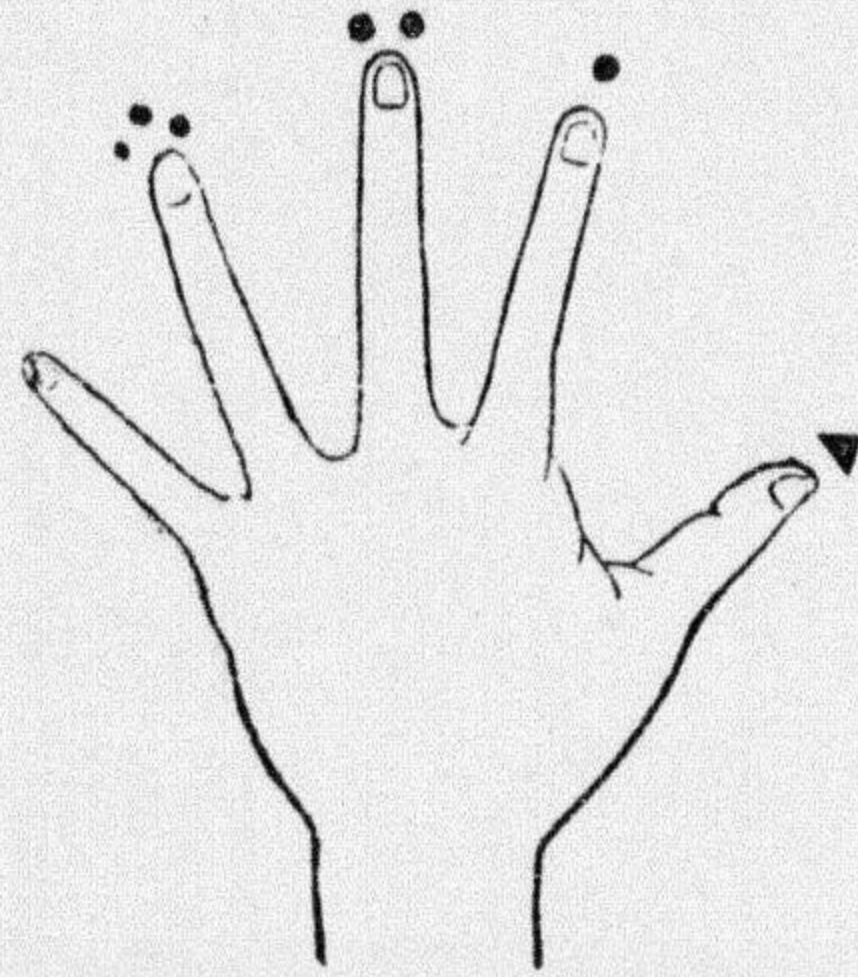
「スクイ撥」は一、二、三の糸、何の糸に限らず撥の先で糸の下から軽く掬ひ上げる之をスクイ撥と唱へます。音符の上部に片假名の「ス」の字が付くは掬ひ撥の標しであります。

ハチキ

「ハチキ」は或る糸を食指で押へて弾き其指はそのまゝに押へ置き然して無名指又は中指の先に力を込めて糸をハチクのであります。又た食指でハチクことがあります。夫は一の糸二の糸三の糸とも押へずに放して弾いた時分で上駒より曲尺で一寸五分ほどの所をハチクのであります。すべてハチク時には指をなるべく曲げて始めに押へた指の傍近いところをハチクとよい音が出ます。之の記號は音符の^{うへ}上に片假名の「ハ」の字を付けてあります。又た何の指でハチクと云ふことは「指づかい」の所で述べてあります。

指つかひ

- ▲は 拇指
- は 食指
- は 中指
- は 無名指



指づかひは尤も肝要であります。圖の如く指遣ひの記號を四通に分ち、一々音符の頭にしるしてあります。兎に角指を順よく運びませんと形も悪く、第一音に干係を及ぼします。俗に三味線は左で弾くと云ふ位で、指の働きが鈍いと撥の方と釣合が取れません。撥が糸に當らぬ前に指の方は最早勘所を押へて居らねば全く優美な音を出すことは出来ません。要するに三味線を練習するには第一に調子を正確に合せ指づかひの方は七分重きを置き三分撥の方へ氣を持つ様にして練習なされば、儘に上達が速であります。

「注意」 指の爪は程度に摘んで一寸糸爪を付けておくべし。爪があまりのびてあると勘所が押へにくい。又無名指などは糸を「はちく」事が多いゆゑよく爪を摘んで置かぬと音がわるい。而して掉はすべりのよきようによく拭き又油手のお方は打粉をふるか指はめをお用ひなさい。

調子の合せ方

本調子は先づ一の糸を各々の聲に應じて適宜に定め而して其一の糸の「5」の勘所を食、指で強く押へて鳴らしその音を二の糸に移すのです。移すと云ふのは一の糸の「5」の勘所を押へた音と二の糸を放して鳴らした音と同じ音にするのであります。次は今合した二の糸の「7」の勘所を押へて鳴らし其音を三の糸に移すのです。夫で本調子が出来たのであります。

二上り調子は先づ本調子に合せて置き而して一の糸の「7」の勘所を押へて鳴らし其音を二の糸へ移すのでつまり本調子の二の音が一音高く上るのであります。

三下り調子は本調子の二の糸の「5」の勘所を押へて鳴らした音を三の糸の放した音に移すのです。つまり本調子の三の糸を放して鳴らした音が一番低くなるのであります。

六下り調子は本調子に合した二の糸の「2」の勘所を押へて鳴らした音を三の糸へ移すのです。六下り調子は三下り調子より三の糸を一倍低くなるのです。俗に三又下りとも唱へます。

子調

一下り調子は三下り調子の合せ方と同じく本調子の二の糸の「5」の勘所を押へて弾き其音と同じ音になる様に一の糸を二音下げるのですツマリ本調子の一が下つた調子です一下り調子の一と二の糸計り弾て居ると二上り調子と同じ音律になつて居ります

凡て何調子を合すにも近火の早鐘を打つ様に唯だ無意味にシャン〜チャン〜鳴らしても正確な調和は取れません殊更初歩のお方は何の音でも同じ様に感じて音の調和がお分りになりませんから先づ最初は調子のよく分つたお方に正確な本調子を合せて貰ひ而して前に述べた調子の合せ方説明に基き種々に音の研究をなさるがよろしい本調子が合へば他の調子は存外樂であります調子を合す時には成るべく音を小さくして除々と二本の糸の音色を聞分け音を探る内に全く調和した音は互に融合つて恰も一つの音でやもあるかの様に自然的感じがあります音と云ふものは耳の働きによつて多少相違する事もあります兎に角練習に随ひ御會得がまいります俗に調子三年と申すがそんなものではありません

譜表

譜表には圖の如く赤色の線で三味線の糸を表はし上部に拍子の表裏を示し次に口三味線並に掛聲を示し下部に唄を表はす、音符は三本の糸の上に適宜に排列されて勘所となつてゆきます、之の音符は「數へ唄」の一つとやの掛りだけを参考の爲表はしたものであります

拍子	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	
掛	ツ	ン	チ	ン	テ	ン	(イヤ)	チ	ン
三	3	3	0	3	0			1	0
二									
一									
唄	ひ	ど	つ	こ	や				

歌の位置にある横線は前の産地を長く引張る記しなり

この間が拍子の仕切りなり

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	
チ	ン	チ	ン	チ	ン	テ	ン	ツ	ン
5	5	1	1	0	0			3	0
ひ	い	ど	よ	あ	く	れ	ば		

小假名の「アイウエオ」は唄の産地であります

諸記號

音符に干係のある種々な記號があります
譜表に示してその例を述べます

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏
ツ	ツ	ン	ツ			テ	ン	ツ	ツ	テ	ン	(ヤ)	チ	ツ	ン			打	山

之の記號は唄の節を長く延ばす様な時分に三味線は弾かぬことがあります其場合に用ゐます 一つが一拍子間の休止符であります

打之の記號は或る場合に指の腹で掉の中途を打つ即ち。たゞく事がある其時に用ひます

之の記號は「コキ」といひまして三本の糸共どの糸に限らず或る勘所を押へて弾き其音の響の切れぬ間に直ぐ或る所迄コキ下すので尤も指先に力を込めねばなりません上圖は三の糸の「リ」の勘所を弾き直ぐに「7」の所までコキ下した音符であります

之の記號は拍子をハヅンで弾く時に用ゐます多く半拍子の音符から一拍子の音符へ進んでゆく時チツン或はツツンといふ様なハヅミ手に用ゐてあります

之の記號は前と意味は同一ですが間拍子が倍の速やさであるから記號が二重になつて居るので斯様な短い間拍子の練習は殊更に全体の拍子を緩く取り取つておやりになるがよろしい

之の記號は「打イロ」といひまして或る勘所を無名指稀には中指の腹で強く打つのである上圖はツツと二の糸の「5」の所を食指で押へて二度弾き其食指はその儘に押へて置き直ぐ次の「ン」を無名指の腹で同じ二の糸の「7」の所を強く打つて元の押へて居る「5」の所を「ツ」と弾くのである「打イロ」は三本の糸共に用ゐる事があります

表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏	表	裏

之の内に排列する音符は二度繰り返して弾くのであります
同じ合の手などを二度弾く場合には便利上この記號を用ゐます

段落記號
太い細い縦線は最早一曲が終つたといふ終結の記號であります

延長記號
この記號の付く音符は規則外適宜に拍子の間を延ばす記號であります

尙この上に特別な記號は譜表に現はれたる度毎に述べる事にしましょう
終に望んで之の譜本の練習法を次に述べて置きます

練習の注意

譜本の練習は第一着に説明を何邊も繰返して讀む事。次に三味線の掉に譜 尺を張付けて調子を合はす練習をなし而して習ひ初めのお方は最初から撥を持たぬこと一曲全部弾き得る迄は爪弾で練習する事而して一時に一曲を覺へようとせず約半頁位づゝ何邊にも覺へるがよろしい拍子や口三味線は極く除々と間拍子や指のつかひ方など違はぬ様に注意して練習するがよろしい急がば廻はれで却つて其方が早く上達いたします又譜本に絶体お分りにならぬ所がありましたら發行元十字屋へ御質問下されば御回答いたします

但し三錢郵便切手封入の事

大正十一年八月五日印刷
大正十一年八月十日發行

定價金八十錢

三味線獨り學び第三編

著者 石澤紫水

發行者 田中繁雄

印刷者 山中孝次郎

發行所 十字屋樂器店

東京市三條通寺町東入

電話長中五七五番
振替大阪六四一番

發賣元 十字屋樂器店

東京銀座三丁目二番地

電話京橋一二五九番
振替東京七一五八番

大賣捌所

不許複製

紫

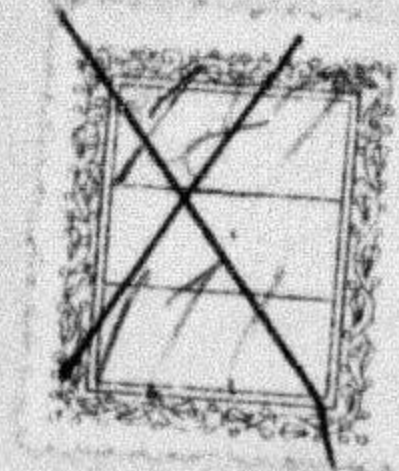
特101

879

系水式

三味線

獨學心



終